

ひえだの タウンタイムズ

穂田野町の人口

総数	2,280
男性	1,086
女性	1,194
世帯数	1,227
令和7年1月1日現在	

令和七年を迎えて

会長 竹岡 敏



穂田野町民の皆様には令和七年の新春をご家族お揃いで、お健やかにお迎えになられましたことと、お慶び申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年は能登半島地震で年が明けましたが、お蔭様で今年は穏やかな年明けとなりました。

昨年の世相を表す漢字は「金」でした。パリオリンピックで金メダルラッシュに沸いた日本選手の活躍がありました反面、国会議員の裏金問題に揺れた年でもありました。私達の生活は円安の影響もあつて、物価も電気代もガソリン代も何もかもが高くなり、暮らしぶらくなりました。

今年はどうなる年になるのでしょうか。今年には巳年です。蛇は脱皮を繰り返しながら成長していきます。この蛇のように、町民の皆様にとつて一段と飛躍される年、より一層幸せを実感される縁起の良い年であつてほしいと願っています。

しかし、社会は一段と不安定さを増しています。国会では少数与党の綱渡り的な政権運営が続きます。韓国では大統領が弾劾訴追を受けて逮捕され、政治が停滞しています。アメリカではトランプ大統領が再び誕生し、自国第一主義のトランプ劇場が始まつていて、世界中がその影響を注目しています。

このような中で、1月12日には全国都道府県対抗女子駅伝大会が開催され、京都府チームが3年ぶり19回目の優勝を飾り、明るい話題を届けてくれました。1月24日からは通常国会が始まり、活発な論戦の下に、国民生活の向上に繋がる成果が期待されます。私達も蛇の脱皮のごとく、自ら何か新しいことにチャレンジもして、自らの手で幸運を引き寄せたいものです。知恵を働かせ、共に力を合わせて、良い一年となるように頑張つていきましょう。

4月から令和七年度を迎えます。穂田野町では互いの人権が尊重されるまちづくりを目指し、町民の皆様の顔の見える関係を大事にし、今後も、種々の事業を通して町民相互の交流や親睦を図り、温もりの感じられる住みよいまちづくりを努めていきたいと考えています。

引き続き、町民の皆様のご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

中部保育所園児の自治会訪問

令和6年11月19日、中部保育所の子ども達が自治会に来てくれました。毎年、勤労感謝の日が近づいてくると来てくれて、「いつもお仕事をしてくれてありがとう。」と言つて、手作りのかわいらしい作品をプレゼントしてくれます。

中部保育所の先生方の心温まる取り組みに感謝いたしますと共に、この子達が健やかに成長して、将来は穂田野町の担い手として活躍してくれることを願っています。



京都・亀岡ハーフマラソン大会

「おもてなし応援」

令和6年12月8日(日)、第10回京都・亀岡ハーフマラソン大会が開催され、約3,500人のランナーが国道372号を力走しました。

穂田野町では毎年、「おもてなし応援」を実施しており、この日も朝8時から二カ所で行いました。

亀岡市立人権福祉センターでは南桑中学校吹奏楽部の生徒達がランナーが走っている間中、一生懸命に応援演奏をして激励してくれました。また、柿花区にあるプロダクツ・ケイ前では亀岡作業所の皆さんが力強い太鼓演奏でランナーを激励していただきました。中には手を振つて応援してくれるランナーもいて、心をつなぐほつとするひと時を過ごしました。

また、給水ボランティアでも沢山の方にお世話になりました。



歩いて知ろう「菫田野町子ども」心の教育 「菫田野神社めぐりと餅つき大会」

令和6年12月15日(日)、北風が吹く寒い日でしたが「菫田野神社めぐりと餅つき大会」を開催しました。この取り組みは、学校、家庭、地域の各種団体・関係者が連携を密にして、未来を担う子ども達が夢を持ち、心豊かにたくましく成長してくれることを願い、毎年開催しているものです。

この日も保育所・園、小・中学校の先生、自治会役員をはじめ、町内各種団体の皆さんに協力いただき、子ども達も多数参加してくれてにぎやかに開催する事ができました。

朝、9時の開会式には、寒い中を桂川孝裕亀岡市長様、神先宏彰教育長様、田中英夫・村正孝両府議会議員様、大石慶明・原野実生子両市議会議員様が駆け付けていただき、ご挨拶をいただきました。菫田野神社では宮司さんから神社にまつわるお話を聞き、その後、資料館に移動して、人形浄瑠璃保存会の人達にお世話になって、人形浄瑠璃の見学や体験をしたり、小学校の先生方によるクイズをしたりしました。小学校では30臼の餅をつき、子ども達をはじめ、参加している皆さんがつかたての餅に舌づつみを打ち、楽しいひと時を過ごしました。



年末特別警戒

令和6年12月28・29日、自主防災会・消防団菫田野分団、防犯推進協議会菫田野支部・菫田野駐在所大喜多警部補の皆さんにより、年末恒例の特別警戒を実施しました。市議会議員の大石慶明様と原野実生子様も一日間参加していただきました。

28日には亀岡市長桂川孝裕様、市議会議長菱田光紀様等の激励を受けました。私達も各区を激励巡回しましたが、どの区も自主防災会の方達が区内の見回りをするなど、熱心に年末特別警戒に取り組んでいただきました。



菫田野町子ども「心の教育」 「人権研修会」

令和7年2月1日(土)、菫田野小学校体育館を会場にして人権研修会を開催しました。まず初めに六年生の皆さんによる狂言「梟(ふくろう)の発表です。狂言の独特な節回しや所作をよく練習し、精一杯演じてくれました。その滑稽さに思わず会場から笑いが起こりました。

続いて、小学一年生から中学三年生の代表

が友達のこと、思いやりの大切さやいじめについて、自分の体験をもとにした人権作文を発表してくれました。子どもならではの純粋な人権感覚に触れ、大人達も人権について考え合う機会となりました。

その後、ヨンディサビリティーズ(4D)の方達によるコンサートを行いました。

4Dとは4人の障害者という意味だそうです。耳の不自由な方が詞の内容を手話で表現され、「耳だけでなく、目でも聴ける新次元の音楽」をバンドコンセプトにして、車椅子生活や耳が聞こえにくいメンバーの方達が日常生活の中で感じている思いをオリジナル曲にして演奏していただきました。障害を持つた人の思いに気付かされたひと時でした。





稗田野町地区社会福祉協議会

当協議会は、小学校区全域における地域住民の助け合い、支え合いによる「顔の見えるまちづくり」を目指して活動しています。令和六年度も昨年度に引き続き、「ふれあい交流事業」と「世代間交流事業」を行い、多くの稗田野町民の皆様に参加いただくことができました。事業内容につきましては「認知症サポーター養成講座」「ふれあい声かけ訓練」「寄せ植え講習会」と「友愛訪問」です。

これらの事業の中で「認知症サポーター養成講座」と「ふれあい声かけ訓練」については、今年も、11月23日（土）に天川区にて開催し、声かけのタイミングや仕方について学んでいただきました。

また、12月16日（月）に認知症サポーター養成講座を稗田野小学校の六年生を対象として実施し、認知症の仕事みや関わり方について学びました。

この事業は地域の方々が認知症について理解を深め、認知症と思われる方に出会った時に「お困りでないですか」と声をかけられるようになって、たとえ、認知症になっても本人や家族を地域で支えていけるまことにしたいという思いで毎年開催しています。

「寄せ植え講習会」は12月22日（日）、参加者20名で開催しました。昨年末で「花政」様が閉店されましたが、上西正次（園芸研究家）様の指導の下、正月用寄せ植えを行いました。

「友愛訪問」は本年も、高齢者世帯（独居老人）の皆様が年末年始を迎えるにあたり、民生委員の皆様にお世話になり、ささやかな贈り物を90名の方にお届けしました。民生委員の方々は、日頃から家庭訪問を通して高齢者の健康状態の把握に尽力されており、その一環として年末にご協力いただいております。



(天川区ふれあい声かけ訓練)



(寄せ植え教室)



(小学生6年生の
認知症サポーター養成講座)



(友愛訪問)

亀岡市消防団 穂田野分団

令和6年12月28日(土)・29日(日)に年末特別警戒が実施されました。自治会、各班の駐屯地に集結し、パトロール等の警戒を行いました。また、28日には桂川市長、29日には田井団長からそれぞれ激励をいただきました。

令和7年1月12日に亀岡市政70周年の冠事業として亀岡市消防出初式が実施されました。

早朝、自治会にて穂田野町消防出初式実施後、亀岡中学校に移動し、式典に参加しました。

式典では桂川市長等が消防・防災分野で功績のあった個人や団体を表彰されました。体育館での式典後は吹奏楽団、消防署車両部隊等と共に南郷公園に向けて市中行進し、その後、各消防分団が集結して一斉放水を行い、防災の決意を新たにしました。



穂田野町老人クラブ

柿花区老人会では令和7年1月14日(火)に第2回目の陶芸教室を開催しました。禾舂窯での陶芸教室はお茶碗、大皿等、思い思いの見事な出来栄となりました。お茶、コーヒー、茶菓子をもち寄った和やかな雰囲気サロンは寒さを吹飛ばす笑いの場となりました。



令和7年2月6日・7日に「ガレリアかめおか」で亀岡市老人クラブ連合会主催の「趣味の作品展」に参加しました。穂田野町の下佐伯白寿会老人クラブ、柿花柿楽会老人クラブ、奥条老人クラブの方々が出展されました。毎年、200人の出展者と380人の見学者で賑わっています。プロ顔負けの作品、趣味を超越した作品が多々展示されています。老人会も今後は「夏祭り」にも出展したいと思っています。



編集後記

時の経つのは早いもので、間もなく、桜花爛漫の季節を迎えます。桜は春の訪れを知らせる代表的な花で、新たな生命の始まりや希望そして移ろいゆく時間の美しさを連想させます。一方で、すぐ散ってしまう、そのはかなさは人間の生命や時間の流れのはかなさを感じさせ、散りゆく姿は哀愁を誘います。

いよいよ令和七年度を迎えます。役員一同、新たな気持ちで事業に取り組み、町民の皆様のコミュニティ活動の増進に努めていきたいと考えています。今後とも自治会の活動に温かいご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



編集委員長 竹岡 敏

編集委員 美馬 正信、西村 一郎、
竹岡 博幸、八木 正純、大石 善次
(コミュニティ推進員)

小澤 弘明、山内 慎太郎